

## 第16期（2020年7月1日～2021年6月30日）事業計画

第16期（2020年7月1日～2021年6月30日）の事業方針及び事業計画は、以下のとおりである。

### (1) 環境教育・普及啓発事業

日本とガラパゴスを繋げる様々な活動により、引き続き関係する団体や個人との繋がりを深化させたり、構築したりして、保全事業へと繋げる。そしてガラパゴスやその保全、そしてJAGAの活動についてより多くの方に知ってもらえるような事業を積極的に行う。

これと関連して、自然管理や観光管理について、ガラパゴスの事例を紹介することで日本の自然保護や世界自然遺産地域の管理に資する情報を提供する。保全への关心や理解が深まることも期待する。

- \* ガラパゴスと小笠原の人的交流、情報交換を行う。小笠原に関する公的機関（国・都・村）などとの連携を更に密にし、継続した関係構築に努める。東京都事業とも連携して行う。
- \* ガラパゴスに関連する企業等との連携を深め、双方に利益をもたらす活動を推し進める。
- \* 時期を見て、「体験学習ツアー」を企画する。
- \* 「ガラパゴス写真コンテスト2020」開催、および「ガラパゴスカレンダー2021」制作、発行。ファンドレイジング／普及ツールとしても活用する。
- \* 2019年に初めて日本に輸入された原産地認証付きガラパゴスコーヒーに関して、コーヒー生産地と重なるスカレシアの森の保全を促進する事業を、日本とガラパゴスで実施する。
- \* その他、教育機関等での講演、講師の派遣、出版物への原稿執筆や翻訳、監修など隨時対応。

### (2) 情報収集提供事業

ガラパゴスに関する正しい情報を的確に提供する。

- \* JAGAホームページのリニューアルを行い、ガラパゴスの情報を積極的に発信する。  
ガラパゴスの自然管理、農業、および観光管理などに関するウェブページも作成すると共に、寄付や会員を増やすためのシステムを導入して、ファンドレイジングを促進する。
- \* 「ガラパゴスのふしぎ」（ソフトバンククリエイティブ社2010年）の一部ウェブ公開。
- \* メルマガ、ホームページ・SNSを活用した情報発信に力を入れる。
- \* 会報発行を継続する。（年2号）
- \* 教育・科学機関、科学番組への協力・監修、マスコミ対応、情報・写真提供など、隨時。

### (3) 環境問題全般情報収集提供事業

近年関心の高まる海洋廃プラ、地球温暖化、リサイクル、SDGsなどについて、情報収集・提供する。

### (4) ガラパゴスの環境保全活動の支援

前年度に引き続き海鳥海洋保全支援、スカレシアの森再生事業支援、環境教育や人材育成のための活動支援の他、農業など自給自足促進、島民団体の活動支援などの事業を行う。

経常的な支援に加え、現地のニーズについて隨時連絡を取り、必要なところに必要な支援を行う。

### (5) 国際協力事業

サンタクルス島のゴミ問題の解決に向け、調査を行い、JICAや外務省との連絡・連携を強める。

### (6) 調査研究支援事業

下記(7)と関連して、イベント実施後に、研究者や関係者同士が継続して情報交換できる仕組みを作る。

### (7) 現地諸機関の運営支援事業

東京都事業として、小笠原の世界遺産登録10周年の記念イベントを実施する。

### (8) その他、本会の目的を達成する上で必要な事業

- ・企業や公的機関との関係を強化し、支援の働きかけを行う。
- ・コロナにより変化したガラパゴスの社会や向かう先について、情報収集を行う。
- ・NPOを対象にした企業のサービスを活用する。